

# 神中しーぶん

平成27年  
11月17日

神原中  
不定期23号

## 米盛氏の講話!!

—子育てがコロッと楽しくなる三つの術—

## 12月行事等

- 1日 生徒会朝会 安全点検  
世界エイズデー
- 2日 人権放送⑥
- 4日 性教育講演会(2年)
- 5日 学習発表会準備  
(弁当の日)  
火1234・準備
- 6日 学習発表会(弁当)
- 7日 土曜日振替休日
- 8日 火2346の授業
- 10日 生徒会専門委員会  
合同帰りの会
- 11日 次年度準備全体会②
- 12日 県中文祭～13日
- 14日 次年度準備委員会③④
- 15日 全体朝会
- 16日 三者面談～18日
- 18日 夜間街頭指導
- 19日 PTA親子作業(1年)  
CGG運動
- 20日 壺屋小70周年  
記念式典・祝賀会  
ファミリー読書の日
- 21日 次年度準備委員会⑤⑥
- 22日 総合テスト(3年)  
音・美・技家・体
- 23日 天皇誕生日
- 25日 二学期前半終了

去る十一月十三日の授業参観日の四校時、ヒーリングライターの米盛智恵子さんを招いての講話を行った。PTA学力向上委員会が調整し、当日の会場設営等でもお世話になりました。

独特な話しぶり、折出てくる「うちな一シヤレ」で、五十分間があつという間に過ぎ去つたように感じた。冒頭では、参加者の皆さんの苦勞を取り去るといふことで、「黒糖」が配られました。理由は分かりますか？

三人の子どもの子育てを通して得た大切なことを「3つの術」にまとめていました。

一つ目は、「ほめまくりの術」、二つ目は、「思いこませの術」、三つ目は、「笑顔の術」でした。

子どもに手伝いをさせた時も、「とてもきれいなったね」「とても上手だねと」「ありがたいわ」等、ほめまくる事が大切である。そのことにより、子どもは更に次の事をやり始める。その時に実際に発した子どもの言葉が「お母さんに、



## 道徳の公開授業

13日(金)の6校時に、「いじめ防止旬間」の取組の一つとして、全学級において道徳の公開授業を実施しました。各学年ごとに、統一した内容での展開により、みんなで行い、内容について考える時間となりました。

「いじめは絶対に許さない」



いじめ防止旬間中は、図書館の方でも、特別に本の展示コーナーを設置していました。



しかされているのは分かるけど、うれしいさあ」とのこと。誉める事により、その人の持つ潜在能力を高める事ができる。それと同時に、「良い言葉」と「悪い言葉」の持つ力について、実際に体を使って説明していました。

また、子どもの書いた決まっていた。実は、子どもが自分で書道塾の申込をしていたとのこと。

二つ目については、小さい頃に進学させたい高校へ連れて行き、「あなたが行く高校はここですよ」と言い聞かせる。さらに、門の前で写真を撮り、子どもをその気にさせる」とのこと。

一九六四年に米国の教育心理学者ロゼンタールによって提唱された



れた、「人間は期待された通りの成果を出す傾向がある」との「ピグマリオン効果」についても触れていました。

生徒たちは自分にかける期待を敏感に感じて「やる気」を出して勉強に励んだり、「やる気」を失ったりすることもあるわけです。

三つ目に、笑顔を忘れずに人と接することの大切さを語っていました。顔の表情、特にマユ・口元による印象の違いを、実際に黒板で描きながら説明していました。

